

全財務局 管内経済情勢報告

	前回 (2年4月判断)	今回 (2年7月判断)	前回との 基調比較	全局総括判断の要点
全局総括	新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制されるなか、足下で急速に下押しされており、極めて厳しい状況にある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まり、一部で持ち直しの動きがみられる	↔	個人消費は、感染症の影響がみられるものの、足元では、外出自粛の緩和により、緩やかに持ち直しつつある。生産活動は、地域差がみられるものの、足元では、自動車等持ち直しの動きがみられるものなど、全体としては下げ止まりつつある。雇用情勢は、新規求人で下げ止まりの兆しがみられるものの、感染症の影響により、弱い動きとなっている。
財務局名	前回 (2年4月判断)	今回 (2年7月判断)	前回との 基調比較	各財務局の総括判断の要点
北海道	新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制され、足下では観光で悪化がみられるなど、極めて厳しい状況にある	新型コロナウイルス感染症の影響により、極めて厳しい状況にあるものの、経済活動の再開に伴い、一部に下げ止まりの動きがみられる	↔	個人消費は、スーパー販売で新型コロナウイルス感染症による「巣ごもり消費」から、主力の食料品が堅調に推移しており、持ち直しの動きがみられる。生産活動及び雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている。観光は、新型コロナウイルス感染症の影響により悪化しているものの、足下では下げ止まりの動きがみられる。
東北	新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制されるなか、足下で大きく下押しされており、厳しい状況にある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる	↔	個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、足下では緩やかに持ち直しつつある。生産活動は、新型コロナウイルス感染症の影響により、電子部品・デバイスが自動車向けなどで低調となっているほか、輸送機械が弱い動きとなっているなど、弱含んでいる。雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている。
関東	新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制されるなか、足下で急速に下押しされており、極めて厳しい状況にある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる	↔	個人消費は、感染症の影響がみられるなか、スーパー販売額、ドラッグストア販売額が前年を上回っているほか、百貨店販売額、コンビニエンスストア販売額に下げ止まりの動きがみられるなど、足下では緩やかに持ち直しつつある。生産活動は、一部に下げ止まりの動きがみられるものの、輸送機械、電気機械、化学が減少しているなど、感染症の影響により、全体として減少している。雇用情勢は、感染症の影響により、弱い動きとなっている。
北陸	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっており、足下ではさらに下押しされ、厳しい状況にある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況が続いているものの、一部では下げ止まりの動きがみられる	↔	個人消費は、ドラッグストア販売やホームセンター販売が好調となっており、家電大型専門店販売は持ち直しつつある。また、百貨店・スーパー販売は前年を大幅に下回ってきたが、足下では持ち直しの兆しがみられるなど、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況が続いてきたが、足下では持ち直しの兆しがみられる。生産活動は、電子部品・デバイスが緩やかに持ち直しつつあり、化学は足下では拡大しているが、生産用機械、金属製品、繊維が弱まっていることなどから、全体では弱まっている。雇用情勢は、有効求人倍率が低下していることなどから、弱い動きとなっている。
東海	新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制されるなか、足下で急速に下押しされており、極めて厳しい状況にある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、足下では持ち直しの動きがみられる	↔	感染症の影響が限るものの、緊急事態宣言の解除により、個人消費は持ち直しの動きがみられる。生産活動は、輸送機械を中心に足下では生産調整が小幅になるなど持ち直しの動きがみられる。こうしたなか、雇用情勢は幅広い業種で求人減少が続いている。
近畿	新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制されるなか、足下で急速に下押しされており、極めて厳しい状況にある	新型コロナウイルス感染症の影響により、極めて厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる	↔	個人消費は、百貨店販売や旅行取扱等を中心に新型コロナウイルス感染症の影響による厳しさが限るものの、足下では下げ止まりの動きがみられる。生産活動は、一部に下げ止まりの兆しがみられるものの、感染症の影響により減少しており、雇用情勢も弱い動きとなっている。
中国	新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制され、足下で急速に下押しされており、厳しい状況にある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる	↔	個人消費は、百貨店販売やコンビニエンスストア販売が低調であるなど、新型コロナウイルス感染症の影響が限るものの、足下では持ち直しの動きがみられる。生産活動は、輸送機械が減少しているなど、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、足下では一部に下げ止まりの動きがみられる。雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる。
四国	新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制され、足下で下押しされた状況にある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる	↔	個人消費は、スーパーが堅調であるほか、百貨店や観光等は、足下では持ち直しの動きなどがみられることから、全体としては新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいるものの、足下では緩やかに持ち直しつつある。生産活動は、新型コロナウイルス感染症の影響により、輸送機械で足踏みの状況にあるほか、電気機械や汎用・生産用機械が弱含んでいることから、全体としては、弱含んでいる。雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている。
九州	新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制されるなか、足下で急速に下押しされており、厳しい状況にある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる	↔	個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響により、百貨店・スーパー販売及びコンビニエンスストア販売は前年を下回っているものの、足下では客足が戻りつつあるなど、緩やかな持ち直しの動きがみられる。生産活動は、一部に下げ止まりの動きがみられるものの、感染症の影響により、弱い動きが続いている。雇用情勢は、有効求人倍率が低下しているなど、感染症の影響により、弱い動きとなっている。
福岡	新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制されるなか、足下で急速に下押しされており、極めて厳しい状況にある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる	↔	個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響による厳しさが限るものの、百貨店・スーパー販売額の減少幅が縮小しているほか、家電大型専門店販売額が増加に転じているなど、足下では一部に持ち直しの動きがみられる。生産活動は、自動車の生産台数が減少していたものの、足下では減少幅が縮小しているなど、一部に下げ止まりの動きがみられる。雇用情勢は、弱い動きとなっている。
沖縄	新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制され、足下では観光で悪化がみられるなど、極めて厳しい状況にある	新型コロナウイルス感染症の影響により、極めて厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる	↔	個人消費は、百貨店・スーパーやコンビニエンスストアの販売額が減少するなど、感染症の影響により、弱含んでいるものの、足下では持ち直しの動きがみられる。観光は、入場観覧客数が大幅に減少するなど、感染症の影響により、悪化しているものの、足下では下げ止まりの動きがみられる。雇用情勢は、有効求人倍率が低下するなど、感染症の影響により、弱い動きとなっている。

(注) ※ 2年7月判断は、前回4月判断以降、足下(7月末)の状況までを含めた期間で判断している。  
 ※ 下線部が基調判断。